

表1 日本の薬系大学の「ドライラボ」(ver.2.1 2013.12)

本ver.2.1は、ver.2.0(2013.7)公表以降、『薬学教員名簿 平成25年度版』(2013.8発行)と、web調査(2013.12.24-7)を基に改訂されたものである。

[1] 国立大学17校(設立順)

大学名・設立年・設立者	講座・分野	設立年	現状とWebsite
東京大	1873 国 医薬政策学(寄)	2001	薬学系研究科・寄附講座(教授:津谷喜一郎,助教:五十嵐中),医薬品経済評価(方法論の開発/評価の応用),くすりギャップ,代替医療の評価の方法論と合理的使用,など
	2001-06は医薬経済学(寄)	2002	薬学系研究科・寄附講座(教授:木村廣道,講師:樹田祥子,助教:櫻木誠,佐藤剛),産業構造変化の要因分析,企業,大学,医療機関等における経営課題の解決,産業振興育成のための新たな社会システムの提言,など
	ファーマコビジネス・イノベーション(寄)	2004	薬学系研究科・寄附講座(教授:澤田康文,兼任准教授:堀 里子,講師:三木晶子,助教:佐藤宏樹),医薬品・健康食品の有用性・安全性情報ネットワークの構築,新規医薬品情報を創製するための研究,薬物動態・薬力学理論に基づくテラーメード・処方設計システムの開発,など
	医薬品情報学(寄)	2005	薬学系研究科・講座(兼任教授:松木則夫,客員教授:藤原康弘,准教授:小野俊介,講師:草間真紀子),総長裁量経費で設立,薬事関連行政のパフォーマンス評価に関する研究,ドラッグラグとその要因の解析,医薬品評価における地域差の研究,臨床試験の国際化と得られるエビデンスの活用に関する研究,医薬品開発関連規制に関する研究,など
(薬学部付属薬害研究施設)			薬学部付属薬害研究施設が1966-1976に存在(粕谷豊) http://www.f.u-tokyo.ac.jp/
金沢大	1876 国 国際保健薬学	2000	大学院医薬保健学総合研究科薬学専攻・研究室(教授:木村和子,准教授:坪井宏仁,助教:吉田直子),偽造医薬品の蔓延とその対策に関する研究,個人輸入医薬品の保健衛生に関する研究,セルフレディケーションに関する薬剤師への教育的介入の研究,HIV自己検査キットの保健衛生に関する研究,など http://www.p.kanazawa-u.ac.jp/
名古屋市立大	1884 公 構造薬学	2002	薬学研究科・分野(准教授:藤井陽一,講師:黒田良孝),オープン・ソース・ソフトウェアの教育への応用,など
	医薬品安全性評価学	2010	薬学研究科・分野(教授:頭金正博,助教:長部誠,田島陽子,安部賀央里),大規模医療情報を用いた副作用発生の実態調査と薬剤疫学的研究,医薬品の国際共同開発の推進を目指した東アジアにおける民族的要因に関する研究,など
	医薬品質保証学	2011	薬学研究科連携大学院(客員教授:奥田晴宏,客員教授:佐藤陽治)非晶質医薬品の品質保証にかかわる製剤特性の評価に関する研究,再生医療・細胞治療に用いられる細胞の品質特性指標の探索,など
	(連携大学院)		名古屋市立大学は国立医薬品食品衛生研究所と連携大学院の協定を締結.同大学はこれを機に,レギュラトリーサイエンス領域での研究を推進する意向(薬事日報2011.6.17報道) http://www.nagoya-cu.ac.jp/phar/
熊本大	1885 国 薬剤情報分析学	2003	生命薬科学専攻 医療薬学講座・研究室(教授:入江徹美,講師:石坂洋一),在宅医療における患者のQOL向上を目指した薬学的取り組み,災害時における救急医療に関する薬学的調査研究,など http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/
京都大	1889 国 医薬産業政策学(寄)	2012	薬学研究科・寄附講座(教授:柿原浩明,助教:馬欣欣,山口道利,米田紘康),新薬・先発薬とジェネリック薬がそれぞれ果たすべき役割の追究,新薬開発の経済効果,など
	臨床薬学教育	不明	薬学研究科・分野(准教授:矢野育子),医薬品適正使用に関する教育研究 http://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/
千葉大	1890 国 高齢者薬剤学	2001	薬学研究院・研究室(教授:上野光一,講師:山浦克典,助教:佐藤洋美),地域医療連携に関する研究など
	実務薬学	2009	薬学研究院・研究室(教授:関根祐子,助教:大久保正人),根拠に基づいた医薬品の適正使用に関する研究
	医薬品情報学(寄) (医薬品情報学)	2012	薬学研究院・研究室(客員教授:山下純) 医薬品情報学研究室が1997-2010に存在(上田志朗) http://www.p.chiba-u.ac.jp/
東北大	1890 国 医薬開発構想(寄)	2003	医療薬学専攻・寄附講座(教授:今井潤,客員教授:竹内和久,客員教授:戸恒和人,客員准教授:大久保孝義,客員准教授:藤原正子,分野研究員:浅山敬),日本人における高血圧関連遺伝子の探索及び薬剤疫学に関する研究,服薬コンプライアンスの評価および改関する研究
	地域薬局学(寄)	2009	医療薬学専攻・寄附講座(兼任教授:富岡佳久,客員教授:大野武,客員准教授:山家靖,准教授:星友典)在宅医療における薬剤師の貢献度向上を目指した調査研究と,その効果を評価するためのインターネットを利用したシステム構築に関する研究,地域における薬局と医療機関との連携による医薬品適正使用の推進と地域医療への貢献,など http://www.pharm.tohoku.ac.jp/
長崎大	1890 国 医療情報解析学	1999	医歯薬学総合研究科 生命薬科学専攻・研究室(教授:川上茂,准教授:和田光弘,助教:池田理恵),医薬品の適正使用に関する臨床薬学的研究,医薬品の医療情報解析に関する研究, など http://www.mdp.nagasaki-u.ac.jp/
富山大	1893 国 (-)		2005年富山医科薬科大を富山大に統合 新富山大学 http://www.pha.u-toyama.ac.jp/
静岡県立大	1916 公 医薬品情報解析学	05-06	臨床薬学大講座・分野(教授:山田浩),EBMと生物統計学に基づいた臨床研究評価・解析法に関する研究,GRC(Clinical research coordinator)の教育・養成に関する研究,医薬品および食品の有効性・安全性情報の評価・解析に関する研究,など
	実践薬学	2008	臨床薬学大講座・分野(教授:並木徳之,准教授:内田信也,講師:加藤安宏,助教:田中紫菜子),医療費原価分析に基づく実用化剤の開発とジェネリック医薬品の臨床評価,など
	薬局管理学 (病院・社会薬学)	2008	臨床薬学大講座・分野(教授:前田利男,助教:谷澤康玄) 病院・社会薬学研究室が1996-2004に存在(横田正實) http://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/
徳島大	1922 国 医薬品情報学	1996	薬学研究科・分野(教授:山内あい子,准教授:佐藤陽一),医薬品安全性情報コミュニティの構築,医薬品適正使用に向けた疫学的研究,など(初代教授は木原勝) http://www.tokushima-u.ac.jp/ph/
岐阜薬科大	1932 公 実践社会薬学	2007	薬学科実践薬学大講座・研究室(教授:杉山正,助手:山下修司),実践的・効率的な薬剤師教育に関する研究,医薬品の個別適正使用に関する研究,など
	医薬品情報学	2001	薬学科実践薬学大講座・研究室(准教授:中村光浩),ITを活用した医薬品情報システムの

				デザイン、など (創立時講師: 酒向孫一)
			薬局薬学 (提携大学院)	不明 薬学科実践薬学大講座・研究室(講師: 井口和弘, 助教: 窪田傑文, 多根井重晴, 助手, 伊藤絵美), 医薬品適正使用とリスク管理に関する研究 2010年11月医薬品医療機器総合機構(PMDA)と連携大学院協定を締結 http://www.gifu-pu.ac.jp/
大阪大	1949	国	医療薬学	05-06* 薬学系研究科・実践薬学教育研究センター・分野(教授: 上島悦子, 助教: 津金麻実子, 仁木一順), 医薬品データベース研究, 補完代替医療に関する基礎的研究, 臨床薬学教育プログラム開発研究, など
			情報・計量薬学 2009までは医薬情報解析学	1998 薬学系研究科情報・計量薬学分野(教授: 高木達也, 助教: 岡本晃典, 川下理日人), 薬剤疫学及び関連分野の研究, 大量計算を前提とするコンピュータ集約型検定法による多重比較法と回帰分析の検定法の研究とその薬学データ解析への応用 http://www.phs.osaka-u.ac.jp/
九州大	1950	国	臨床育薬学	2009 薬学研究院・分野(准教授: 鳥添隆雄, 准教授: 窪田敏夫, 助教: 小林大介), 薬学教育における教育システムならびに評価法の確立, 各症例に対する服薬指導方法論の確立, 節薬バッグを使用した残薬の詳細な分析による医療費および患者負担軽減の検討, など
			医薬品情報解析学 (薬剤疫学)	不明 薬学府・講座(准教授: 江頭伸昭, 臨床薬学調査研究など 薬剤疫学研究室が2002(佐々木茂貴), 2005教員名簿なく不明, 2006-2008に存在(鳥添隆雄) http://www.phar.kyushu-u.ac.jp/
北海道大	1954	国	(-)	2007 http://www.pharm.hokudai.ac.jp/
岡山大	1969	国	救急薬学 (医薬情報学)	2012 医歯薬学総合研究科・病態制御科学専攻・研究室(教授: 名倉弘哲, 助教: 安井典久) 救急医療における薬物治療に関連する研究 医薬情報学研究室が1995-2007に存在(綿矢有佑) http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/
広島大	1969	国	(社会薬学)	1977-2002 医学部総合薬学科に社会薬学講座, 2005 医学部総合薬学科が薬学部へ改組し, 旧講座を引き継いだ生体機能分子動態学研究室が「学部名称」として「社会薬学講座(太田研)」を用いている http://www.hiroshima-u.ac.jp/bimes/

[2]1983年以前設立の私学29校 (設立順)

大学名・設立年・設立者	講座・分野	設立年	現状とWebsite
東京薬科大	1880 私 社会薬学	2006	薬学部医療薬学科・研究室(教授: 宮本法子), 薬学生による「小学生等に対するくすり教育」の出前授業と資料・教材の作成, 地域保健医療の担い手としての薬剤師の役割, 医療裁判を教訓として薬剤師の使命を考える
	一般用医薬品学	2008	薬学部医療薬学科・教室(教授: 渡辺謹三, 助教: 成井浩二), 一般用医薬品とセルフメディケーションの情報提供法の開発, など (05-06* 寄付講座として存在, 海老原格)
	薬局管理学	2009	薬学部医療薬物薬学科・講座(助教: 岡田寛征, 和久田光宣), 薬局実務教育支援システムの構築
	医療人間関係学 情報教育研究センター	05-06* 2003	薬学部医療衛生薬学科・研究室(教授: 土屋明美) 薬学部医療薬学科・研究室(教授: 土橋朗, 准教授: 小杉義幸, 助手: 倉田香織), 初回問診に見る食物アレルギー情報に関する解析, 緊急安全性情報の発出による処方動向変化と適正使用に関する解析, 地域住民の保険薬局および病院診療所への受療行動に関する解析, 諸外国の共同薬物治療管理(CDTM)業務に関する調査研究
	薬事関係法規 (科学史学)	不明	薬学部・研究室(教授: 安田一郎), 研究分野: 公衆衛生, 乱用薬物など 科学史学教室が1971-1991に存在(川瀬清) http://www.toyaku.ac.jp/
京都薬科大	1886 私 (-)		http://www.kyoto-phu.ac.jp/
明治薬科大	1902 私 社会薬学	2005	薬学部リベラルアーツ・研究室(教授: 古澤康秀)
	社会学	不明	薬学部リベラルアーツ・研究室(准教授: 小松楠緒子), 医療社会学分野における研究など
	医療コミュニケーション学	不明	薬学部リベラルアーツ・研究室(准教授: 町田いづみ)
	医薬品評価学	2006	薬学部医療薬学系・研究室(教授: 渡邊誠), 日本の臨床試験の実態調査と分析など
	治療評価学	2006	薬学部医療薬学系・研究室(教授: 伊東明彦), 糖尿病などの治療薬・治療法の調査研究など
	医薬品安全管理学	2010	薬学部医療薬学系・研究室(教授: 遠藤一司) 抗がん剤などの医薬品を安全に効果的に用いる方法などの研究
	公衆衛生・疫学	2010	薬学部健康・環境薬学系・研究室(教授: 赤沢学, 助教: 庄野あい子) 医薬品・医療技術(ワクチンやCOPD治療薬)の費用対効果分析, 生活習慣病(高血圧, 高脂血症, 糖尿病, がんなど)に対する医薬品の使用実態と安全性評価, など http://www.my-pharm.ac.jp/
大阪薬科大	1904 私 臨床実践薬学	不明	薬学部・研究室(教授: 荒川行生, 准教授: 恩田光子, 助手: 田中有香), 医療管理学の手法を用いた薬物治療・薬剤師職能のアウトカム評価, など http://www.oups.ac.jp/
星薬科大	1921 私 法学	不明	薬学部・研究室(講師: 山本弘), 研究分野: 日本法制史(大学) http://www.hoshi.ac.jp/
東邦大	1926 私 薬事法学	2004	薬学部医療薬学教育センター・研究室(准教授: 秋本義雄), 薬に関わる医療過誤裁判等から本来薬剤師が果たすべき法的責任を検証し, 実務に活かすための研究, 薬剤師業務におけるリスクマネジメントについて法律面も考慮した立場から研究 http://www.phar.toho-u.ac.jp/
昭和薬科大	1930 私 医薬情報評価教育	1999	医療薬学教育研究センター・医薬情報評価教育・戸田研究室(教授: 戸田潤), 薬剤経済学に基づくより良い薬物治療の選択など 医療薬学教育研究センター・医薬情報評価教育・串田研究室(講師: 串田一樹), 在宅医療システムの構築と薬局機能, 医薬品の環境負荷と国際的な規制, 戦後の医薬品販売の変遷
	臨床心理学	2008	基礎薬学教育研究センター・研究室(教授: 吉永真理), 青少年の地域参画の体験が自己効力感に及ぼす影響, アクティブ・シニアの活動性と主観的健康観に関する研究など
	薬剤師実務教育	2013	基礎薬学教育研究センター・山本研究室(教授: 山本美智子), 医薬品のリスクコミュニケーション・リスク管理に関する研究, 患者向の医薬品情報のあり方に関する検討とプログラム作成, 医薬品適正使用のためのアプローチ“Academic Detailing”のモデル構築
	セルフメディケーション学(寄)	不明	寄付講座。(教授: 石井文由) 一般用医薬品を用いるセルフメディケーションおよび医療医薬品を用いる医師の診断による治療の統括的比較研究, 健康診断検査結果による予防医学的セルフメディケーションの実践およびその評価研究

神戸薬科大	1930 私 社会科学	2008	http://www.shoyaku.ac.jp/ 薬学部・研究室(准教授:松家次朗),倫理的問題の特質の解明、医療専門職の社会的責任など
慶応義塾大 (2008.3までは 共立薬科大)	1930 私 社会薬学	1991	http://www.kobepharma-u.ac.jp/ 薬学部・研究室(教授:福島紀子,助教:岸本桂子,助手:川合由起),社会薬学の活動を通して学ぶ薬学
	医薬品情報学	2007	薬学部・研究室(教授:望月眞弓,准教授:橋口正行,助教:丸山順也)医薬品情報の創出・評価・活用
	実務薬学	2000	薬学部・研究室(教授:木津純子,助教:前澤佳代子,渡辺裕子)エビデンスに基づく医薬品適正使用
	医薬品開発規制科学	2011	薬学部・研究室(教授:黒川達夫,講師:松嶋由紀子)最新の薬学の成果およびその象徴である新薬を、薬事規制や国際ハーモナイゼーションなどを駆使し、社会において最も安全かつ有効な形で活用されるための方法を科学的に究明 http://www.pha.keio.ac.jp/
東北薬科大	1939 私 医薬情報科学	2006	薬学部臨床薬理学系・教室(教授:佐藤憲一,講師:川上準子,助教:星憲司,助手:青木空真)数理科学や計算科学をベースとした診断支援、医薬品情報活用など
	医療管理学	不明	薬学部医療薬学系・研究室(特任教授:濃沼信夫)医療の社会経済分析、医療の質・効率・安全に関する研究 www.tohoku-pharm.ac.jp/
日本大	1952 私 薬事管理学	1956	薬学部応用薬学系・研究室(教授:白神誠,専任講師:泉澤恵,助教:中島理恵),研究テーマは薬剤経済学の実践、薬剤師業務の評価/薬局の評価、薬事関連制度の分析・評価の3領域が柱 (1956-82中村泉美,1982-2001中村健)
	1956-86は経営学研究室 1986-89は薬事経済学研究室		
	セルフメディケーション学	2004	薬学部実践薬学系・研究室(教授:安川憲,助教:野伏康仁)生活習慣病の予防
	医療コミュニケーション学	2010	薬学部実践薬学系・研究室(教授:亀井美和子,助教:渡邊文之),薬物治療を行う患者・看護者の支援
	医薬品評価科学	2011	薬学部実践薬学系・研究室(教授:日高慎二,専任講師:荒川基記),医薬品の価値や研究開発の諸相の分析
	病院薬学	05-06*	薬学部実践薬学系・研究室(教授:福岡憲泰,准教授:濃沼政美),統計的なデータ解析に基づき、社会科学のおよび臨床薬学的な研究を実践
薬学教育	2004	薬学部基礎薬学系・研究室(教授:小池勝也,教授:高島亨)教育方法の効率化、視覚化、改善に関する研究 http://www.pha.nihon-u.ac.jp/	
名城大	1954 私 医薬品情報学	2000	薬学部薬学科・研究室(教授:後藤伸之,助教:大津史子),医薬品適正使用に関する研究,医薬品副作用情報データベースの開発研究,など(創立時助教授:稲垣員洋)
	病院薬学	2003	薬学部薬学科・研究室(教授:亀井浩行,助教:半谷眞七子,福井愛子),薬剤師と患者のコミュニケーションに関する研究,臨床薬剤師教育を推進するための方法論に関する研究(初代教授:松葉和久)
	臨床医学	2004	薬学部薬学科・研究室(教授:吉田勉),臨床薬剤師養成のための臨床医学教育技法の開発など
	臨床経済学 地域医療薬局学(寄)	2007 2012	薬学部薬学科・研究室(教授:坂巻弘之),医薬品政策に関わる研究,医療技術評価 寄付講座。(教授:鍋島俊隆)医療や介護などのあらゆる場面において地域医療を支える薬剤師の役割と職能の確立 http://www.yaku.meijo-u.ac.jp/
近畿大	1954 私 公衆衛生学	84以前	薬学部医療薬学科・研究室(教授:川崎直人,助教:緒方文彦),生活習慣と疾病との関連性評価,医療費削減のための医薬品の処方解析,など
	臨床薬剤情報学 2007-8は臨床薬学	2007	薬学部医療薬学科臨床薬学部門・分野(教授:高田充隆,准教授:細見光一,助教:藤本麻依),薬剤疫学研究,地域医療連携に関する調査研究など
	医薬品評価解析学	2009	薬学部医療薬学科臨床薬学部門・分野(教授:松山賢治,准教授:大島徹)ジェネリック医薬品の評価研究など http://www.phar.kindai.ac.jp/
第一薬科大	1960 私 社会薬学	2009	臨床薬学講座・分野(教授:吉武毅人,講師:小武家優子),薬剤師を取巻く社会的な環境やニーズの変化を調査し、今後の薬剤師職能のあり方について研究する
	処方解析学	2012	臨床薬学講座・分野(教授:村山恵子)処方の最適化と適切な服薬指導 http://www.daiichi-cps.ac.jp/
東京理科大	1960 私 医療安全学	不明	薬学部薬学科・講座(教授:小茂田昌代),研究領域:医療安全学,臨床薬剤師支援システム開発
	医薬品評価学	不明	薬学部薬学科・講座(准教授:嶋田修治),研究領域:医薬品の適正使用を目指した情報の再構築
	医薬品情報学 薬局管理学	2013	薬学部薬学科・講座(講師:佐藤嗣道)
	健康心理学	不明	薬学部薬学科・講座(教授:伊集院一成,上村直樹,鹿村恵明),ヘルスピジランス(医薬品使用量から地域住民の健康状態を把握,薬局グランドデザイン,OTC薬に関する研究,など)
	(社会・情報薬学)	不明	薬学部薬学科・講座(教授:後藤恵子),患者心理,ファーマシューティカルコミュニケーション教育法,ストレスマネジメント 社会・情報薬学研究室が2004-2006に存在(鈴木潤三) http://www.ps.noda.tus.ac.jp/yakugakubu/
福岡大	1960 私 医薬品情報学	1995	薬学部医療管理学講座・研究室(教授:小野信文,助教:木村公彦),ジェネリック医薬品の情報収集と調査研究など
	医療構造学	不明	薬学部医療管理学講座・研究室(教授:原修司,助教:松本太一),抗悪性腫瘍薬の適正使用に関する研究
	薬学疾患管理学	2002	薬学部薬学疾患管理学講座・研究室(教授:片岡泰文,准教授:道具伸也,首藤英樹,山内淳史,助教:高田美友子,西奥剛,古賀允久,助手:町田崇),薬学疾患管理のモデルシステムの組み立て,更年期における薬物療法の問題点など http://www.pha.fukuoka-u.ac.jp/
武庫川女子大	1962 私 (-)		http://ph.mukogawa-u.ac.jp/
北里大	1964 私 中毒学	1995	薬学部臨床薬学研究・教育センター・研究ユニット(准教授:福本真理子),中毒の初期処置に関するガイドラインの標準化の検討,一般市民向け中毒防止活動のための啓蒙システムの構築,など(初代教授は小鴨晃)
	社会薬学	2008	薬学部薬学教育研究センター・部門(教授:鈴木順子,助教:深町伸子,山本大介),薬学分野の中に社会学の視点を取り入れ,人を育てる有効な方法を探る.地域医療のなかで様々なスタッフと薬剤師が効果的に連携するための研究,など
	保険薬局学	2004	薬学部臨床薬学研究・教育センター・臨床医学大講座・研究室(教授:吉山友二,講師:川

			上美好, 講師: 有海秀人, 助教: 宮崎智子), 地域の医療・保健・福祉における薬剤師職能の支援に関する研究 (創立時助手: 城戸美好)
臨床統計学	1999	薬学部臨床薬学教育センター・臨床医学大講座・研究室 (教授: 竹内正弘, 専任講師: 高橋史朗, 助教: 井上永介, 道前洋史, 朴慶純)	
医薬開発学	05-06*	薬学部臨床薬学教育センター・臨床医学大講座・研究室 (教授: 竹内正弘, 准教授: 成川衛, 助教: 金子真之), 製造販売後調査のデザイン, 東アジア地域における国際的な医薬品開発 など	
医療心理学	2007	薬学部薬学教育研究センター・部門 (准教授: 有田悦子, 助教: 池谷博美, 田辺記子), 医療人としてのヒューマニズム養成教育に関する研究など http://www.kitasato-u.ac.jp/pharm/	
昭和大学	1964 私	地域医療薬学	2006 薬学部・社会健康薬学講座・部門 (講師: 赤川圭子), 一般用医薬品の適正使用, 医療用医薬品の適正使用
		臨床薬学	1992 薬学部・薬物療法学講座・部門 (教授: 山元俊憲, 准教授: 小林靖孝, 助教: 神山紀子, 大林真幸, 中田亜希子), 患者情報に関する調査研究など (初代教授は黒岩幸雄)
		医薬情報解析学	不明 薬学部・薬物療法学講座・部門 (教授: 加藤裕久, 助教: 半田智子), 研究分野: 医薬品情報学, 医療薬学, 臨床薬学
		医薬品評価薬学	不明 薬学部・社会健康薬学講座・部門 (教授: 岩井信市, 講師: 亀井大輔, 助教: 小島章嗣), 医薬品の治療効果と副作用の評価と予測に関する研究 http://www.showa-u.ac.jp/sch/pharm/
徳島文理大	1972 私	医療薬学・薬物治療学	不明 薬学部・大講座 (教授: 山川和宣, 松永洋一, 庄野文章, 市川勤, 中田素生, 瀬川正昭, 京谷庄二郎, 准教授: 石田志朗, 塩原義則, 浜田嘉則, 助教: 末永みどり, 助手: 西木まゆみ) 病院薬剤部と調剤薬局との連携を強化する研究, へき地医療における薬剤師の役割に関する研究, など http://p.bunri-u.ac.jp/
神戸学院大	1972 私	社会薬学 (薬学管理学)	2006 薬学部薬学科・部門 (社会薬学は部門名, 衛生化学, 医療薬学, 生物化学など) 1983-2001管理薬学 (藤井正美, 赤穂栄一) http://www.kobegakuin.ac.jp/~pharm/
北海道医療大	1974 私	薬事法制度	不明 薬学部衛生薬学講座に属する3つの領域の1つ (准教授: 森本敦司) 薬剤師をはじめとする資格制度とその法的規制
		実務薬学教育研究	2006 薬学部実務薬学教育研究講座 (教授: 唯野貢司, 准教授: 千葉薫, 講師: 中山章, 吉田栄一, 櫻田渉, 助教: 野田久美子) 地域社会における学校薬剤師活動に関する調査, 調剤薬局におけるリスクマネジメントに関する調査研究, など http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~pharm/
城西大	1973 私	薬剤作用解析学	1998 薬学部薬学科・研究室 (教授: 小林大介, 助手: 大島新司, 根岸彰生), 薬の効果や副作用に関するデータマイニング (初代教授は齋藤侑也)
		医薬品安全性学	2008 薬学部薬学科・研究室 (教授: 金本郁男, 准教授: 井上裕, 助手: 村田勇), 医療安全に根ざした医薬品の評価・医薬品情報の活用, など http://www.josai.ac.jp/~facpharm/
北海道薬科大	1974 私	薬事管理学	2002 薬学科社会薬学系・分野 (教授: 櫻井秀彦, 多田均, 准教授: 野呂瀬崇彦, 村上美穂, 講師: 牧野高壮), 薬局業務の評価に関する研究, 専門サービスの消費者行動とマーケティング・マネジメント, など
		地域医療薬学	不明 薬学科社会薬学系・分野 (教授: 古田精一, 准教授: 坂東勉, 講師: 伊東佳美, 柳本ひとみ), 地域医療における薬剤師の役割に関する研究
		医薬情報解析学	不明 薬学科社会薬学系・分野 (教授: 黒澤菜穂子, 准教授: 岡崎光洋, 講師: 梅田純代) 薬剤師業務を支援する医薬情報のあり方
		薬学教育	不明 薬学科薬学教育系・分野 (教授: 島森美光, 准教授: 石突諭, 大野裕昭, 高梨香織, 講師: 小林弘幸) 薬学教育の改善に関する調査研究
		在宅医療薬学 (薬学概論)	不明 大学院薬学研究科 (教授: 櫻井秀彦, 吉田精一) 調剤薬局における在宅業務の解析 薬学概論研究室が1998-2002に存在 (伊藤敬一) http://www.hokuyakudai.ac.jp/
北陸大	1975 私	(-)	http://www.hokuriku-u.ac.jp/yakugaku/
帝京大	1977 私	(連携大学院)	薬事日報電子版2012.321報道: 帝京大4年制大学院薬学研究科とPMDAは連携大学院協定を締結, 2012年4月以降大学院生の教育研究や相互の人的交流について, 連携・協力する
		薬剤疫学 (薬業経営論)	不明 薬学部・研究室 (教授: 森川馨, 講師: 大塚知子), 大規模副作用症例報告データベースの解析に関する研究, 海外の医薬品安全性サーベイランスに関する薬剤疫学研究 薬業経営論研究室が1998-2004(*05)に存在 (水戸和夫) http://www.pharm.teikyo-u.ac.jp/
新潟薬科大	1977 私	社会薬学 情報薬学 (薬学概論)	2011 薬学部・研究室 (教授: 藤原英俊) 薬剤師に関係する法律, 制度 2011 薬学部・研究室 (准教授: 土橋洋史), 医薬品副作用症例データベース(DB)を構築・活用 薬学概論研究室が1988以前-2002に存在 (多村憲) http://www.nupals.ac.jp/
福山大	1982 私	薬剤情報解析学 医療薬剤学	不明 医療薬学系・研究室 (教授: 江藤精二, 准教授: 五郎丸剛) ジェネリック医薬品の活用 不明 医療薬学系・研究室 (教授: 吉富博則, 佐藤英治, 助手: 近藤よしの), 薬物治療に関する臨床薬学的研究 http://www.fukuyama-u.ac.jp/pharm/
摂南大	1983 私	(-)	http://www.setsunan.ac.jp/~pharm/

[3]2003年以降設立の私学28校 (設立順)

大学名・設立年・設立者	講座・分野	設立年	Website と 備考
就実大	2003 私 (臨床医薬品評価学)		薬事日報電子版2012.321報道: 就実大4年制大学院医療薬学研究科とPMDAは連携大学院協定を締結, 2012年4月疾病治療薬学専攻に臨床医薬品評価学を開設, 医療現場の臨床試験研究体制, 国内外の医薬品の評価体制などを研究課題にする計画
	医薬品情報学	不明	薬学部・講座 (教授: 手嶋大輔, 講師: 毎熊隆登), 医薬品の副作用と適正使用に関する研究, 医療コミュニケーション教育など http://www.shujitsu.ac.jp/category/department/yakugaku
九州保健福祉大	2003 私 薬学情報学 (教員名簿)	2003	薬学部・研究室 (教授: 松岡俊和), 薬学・化学領域における高度知識情報処理 教育情報基盤の構築と薬学教育への適用
	医事法学 (教員名簿)	不明	薬学部・研究室 (教授: 前田和彦), 研究領域: 医事法学, 民事法学, 生命倫理学 http://www.phoenix.ac.jp/faculty/p_sciences/
日本薬科大	2004 私 (-)		http://www.nihonyakka.jp/

千葉科学大	2004 私 (-)		http://www.cis.ac.jp/information/introduction/pharmacy/
城西国際大	2004 私 医薬品評価科学	不明	薬学部・研究室(教授: 児玉康夫), 研究分野: 臨床試験, レギュラトリーサイエンス http://www.jiu.ac.jp/pharmacy/
広島国際大	2004 私 臨床薬学	不明	薬学部・講座(教授: 塚本豊久, 准教授: 佐和章弘, 佐々木順一, 助教: 前田志津子), 保険薬局の機能と業務支援, 災害医療, など http://www.hirokoku-u.ac.jp/faculty/pharmacy/
帝京平成大	2004 私		2012年4月から4年制の大学院薬学研究科・薬学専攻(博士課程)を開設。研究分野は、大きく医療系薬学(創薬・橋渡し研究)と社会系薬学(医療実践研究, 医薬評価・規制研究)に分けられる。
	(連携大学院)		薬事日報2012.4.27薬事日報報道: 同大学院薬学研究科は2012年2月に、国立医薬品食品衛生研究所との間でレギュラトリーサイエンス分野における教育・研究の連携大学院協定を結び、今月から動き出した。同大学は国立衛研職員2名を客員教授に委嘱し、「医薬安全科学特講」の講義を行う。国立衛研では、同大学大学院生の薬学特別研究のインターンシップ先として1~2年間研修を受け入れる予定。
	薬事・情報学	不明	社会薬学教育研究センター・研究室(教授: 鈴木政雄, 准教授: 齋藤充生), 研究分野: 社会薬学, レギュラトリーサイエンス
	薬局機能評価学	不明	社会薬学教育研究センター・研究室(教授: 岩木和夫)
	医療経済学	不明	社会薬学教育研究センター・研究室(准教授: 荒川一郎), 研究分野: 薬剤経済学
	環境評価学	不明	社会薬学教育研究センター・研究室(教授: 西村哲治), 研究分野: 環境衛生科学 http://www.thu.ac.jp/faculty/pharmacy/ph_index.html
武蔵野大	2004 私 (連立大学院)		薬事日報2011.6.13報道: 武蔵野大学と医薬品医療機器総合機構(PMDA)は2011年6月、連携大学院協定を締結、今後レギュラトリーサイエンスへの対応を強化する
	レギュラトリーサイエンス	2012	研究室。(教授: 豊島聡, 講師: 關野一石) 科学的合理性と社会的正当性に関する根拠に基づいた医薬品・医療機器評価のためのレギュラトリーサイエンス研究
	(一般用医薬品学)		2009 一般用医薬品学齊藤洋退職 http://www.musashino-u.ac.jp/faculty/pharmacy/
徳島文理大香川	2004 私 医療薬学	2004	薬学部・大講座(教授: 二宮昌樹, 飯原なおみ, 横田ひとみ, 桐野豊, 助教: 中妻章, 岡田岳 薬剤リシステム, 病院・診療所と保険薬局の連携システムの構築, など http://kp.bunri-u.ac.jp/
青森大	2004 私 [社会薬学担当教員] 社会薬学(教員名簿)	2010	薬学部薬学科教授 嶋田雄介, 専門分野: 社会薬学, 研究内容: 社会において果たすべき 薬局, 薬剤師等の責任, 義務等, 及び社会貢献の必要性を理解するために, 薬学を取り巻く 法律, 制度及び経済等に関する知識・情報, あるいは地域社会活動について調査・研究する http://www.aomori-u.ac.jp/pharmacy/
奥羽大	2005 私 (-)		http://www.ohu-u.ac.jp/faculty/pharmacy/
国際医療福祉大	2005 私 [薬事管理学担当教員]	2007	薬学部薬学科教授 佐藤拓夫, 医薬品開発における臨床評価とレギュラトリーサイエンスに関する研究 / 薬学教員名簿では「医療関係法規・日本薬局方」、研究領域: 薬事管理学、国際共同治験
	[医薬品経済学担当教員]	2006	薬学部薬学科教授 池田俊也, 生活習慣病の薬剤経済評価 / 薬学教員名簿では「公衆衛生学」、研究領域: 薬物療法の費用対効果分析 http://www.iuhw.ac.jp/gakubu/yakugaku/
愛知学院大	2005 私 実践薬学	不明	薬学部医療薬学科・講座(教授: 脇屋義文, 講師: 梅村雅之), 医薬品の適正使用に関する研究, 医薬品の品質評価に関する研究, 医薬品の薬剤疫学的研究, など http://www.phar.agu.ac.jp/
金城学院大	2005 私 (-)		http://www.kinjo-u.ac.jp/pharmacy/
同志社女子大	2005 私 (-)		http://www.dwc.doshisha.ac.jp/faculty_dep_info/pharmacy
崇城大	2005 私 臨床薬学	不明	薬学部・研究室(教授: 霧田聡, 准教授: 森内宏志, 講師: 石黒貴子), 医薬品適正使用の評価法に関する研究, など http://www.ph.sojo-u.ac.jp/
横浜薬科大	2006 私 (-)		http://www.hamayaku.jp/
高崎健康福祉大	2006 私 薬剤疫学	2006	薬学部薬学科・研究室(教授: 増田寛樹, 准教授: 岡田裕子, 助手: 前田恵里) 医薬品安全性情報の確認又は評価を行うための研究 / 薬学教員名簿では「薬剤疫学」 医薬品の評価およびリスクマネジメントなど http://www.takasaki-u.ac.jp/dept/yaku/
松山大	2006 私 医療薬学	不明	薬学部医療薬学教育センター・研究室(教授: 出石文男, 准教授: 山口巧), 地域における医療連携, 薬・薬連携など http://ghp01.matsuyama-u.ac.jp/~yakugaku/
長崎国際大	2006 私 (-)		http://www1.niu.ac.jp/course/pharmacy
大阪大谷大	2006 私 実践医療薬学	不明	薬学部・講座(教授: 小川雅史, 西井諭司, 准教授: 初田泰敏, 講師: 池田賢二, 助教: 川西園代), 医薬品情報のあり方についての研究, 薬啓発手段と薬剤師業務のあり方の研究, など http://www3.osaka-ohtani.ac.jp/ph/
岩手医科大	2007 私 臨床薬剤学	不明	薬学部・講座(教授: 高橋勝雄, 准教授: 藤原邦彦, 准教授: 工藤賢三, 講師: 嶋崎淳, 助教: 岩淵修, 助教: 千葉健史), 本講座では、医薬品が最も効果を発揮するための使用法, 他薬との飲みあわせによる影響, 効果と経済的面の関係などの臨床に直結した課題を研究テーマとする。また医薬品の製造販売後調査や薬物療法の疫学調査による育薬を推進する。 http://www.iwate-med.ac.jp/pharm
いわき明星大	2007 私 [薬事関係法規担当教員] 社会薬学部門(教員名簿)	不明	薬学部薬学科准教授 増成直美, 薬学と法学の交錯領域の研究 教員名簿では社会薬学部門(准教授: 山崎勝弘) 研究領域としてギュラトリーサイエンス http://www.iwakimu.ac.jp/pharm
安田女子大	2007 私 (-)		http://www.yasuda-u.ac.jp/top/course/pharmacy/
兵庫医療大	2007 私 (-)		http://www.huhs.ac.jp/index.php/pharmacy.html
姫路獨協大	2007 私 医療経済学	2008	研究室。(教授: 柳澤振一郎) 医療経済学, 生物統計学, 疫学 http://www.himeji-du.ac.jp/faculty/dp_pharm/
立命館大	2008 私 (-)		http://www.ritsumeij.jp/pharmacy/index_j.html
鈴鹿医療科学大	2008 私 (-)		http://www.suzuka-u.ac.jp/education/pp/

(注) 05-6*: 薬学教員名簿2005年版は発行されていないため2006年, 2005年のいずれか不詳

2004(*05) 薬学教員名簿2005年版は発行されていないため2004年, 2005年のいずれか不詳

(付記) 本表と同じものは <http://www.f.u-tokyo.ac.jp/~utdpm/drylab.html> で公開し、論文掲載後2年間は適宜更新の予定である